

吉田コミュニティだより

令和6年度

9月号

発行：吉田地区地域コミュニティ運営協議会事務局

0954-43-9380



第49回 吉田夏まつり開催

令和6年8月17日（土）吉田地区の夏の風物詩「吉田夏まつり」が吉田夏まつり実行委員会の主催により、開催されました。出し物は、吉田保育園の可愛らしい「ピカチュウ音頭」から始まり、吉田中1年生の合唱「マイバラード」の美しい歌声、吉田小6年生の元気いっぱいの「ソーラン節」、エミアロハフラスタジオの「フラダンス」と続き、最後に村上市長や辻市議会議員も参加の総踊りの「炭坑節」で締めました。



そのあとは、お楽しみ抽選会です。目玉の43型液晶テレビや関東地区ふるさと吉田会提供の1万円の商品

券など盛りだくさんの景品が並びました。続いて、子どもたち対象のジャンケン大会です。MCの女性アナとのジャンケンに勝ち抜いた6名が、ステージ上で特大花火セットを巡ってジャンケン勝負を繰り広げました。



ト리는皆さんお待ちかねの花火大会です。約400発の工夫を凝らした花火が15分間、吉田の夜空に上がりました。吉田の花火は距離感や盆地という地形による音の響きにより、引き込まれるような魅力を感じます。

昨年以上に人出も増加しているように感じた吉田夏まつりですが、吉田地区としての一体感を感じられるイベントとして実行委員会一同、今後も充実を図っていきたいと思います。また、花火代も高騰している中ではありますが、住民の皆さんや事業所からの協賛により支えられて、無事開催できたことに厚くお礼を申し上げます。また、実行委員会メンバーや市職員サポーターの皆さんも暑い中の作業本当にご苦労様でした。



交通安全教室「シニアカー講習会」開催！

8月2日に総務・広報部会（深川祐次郎部会長）主催により、シニアカー講習会を利用者及びこれから利用を考えている人対象に、吉田公民館で、実施しました。前半は、鹿島警察署交通課の一ノ瀬さんに道路交通法などの理解を踏まえての安全運転について、後半は販売業者の方に安全性についてなどのお話を実際に試乗しながらお聞きしました。

参考になったのは、運転手は視界が低く、狭くなってしまうことや内輪差が生じてしまうこと、また、見た目以上に重量があることへの注意や施設によっては、入ることのできないところもあるということなどでした。



古本市（リユース）を開催しました！

公民館活動部会（古賀善徳部会長）では、7月16日から26日まで、吉田公民館2階ロビーにおいて、古本市（リユース）を実施しました。家庭の不用本などを持ち寄っていただき、必要な方には、持ち帰ってもらうという地区内における本の循環を目指しました。

コミックなどは売れ行きが良かったようです。まだ、本は残っていますので、予定の期間は過ぎましたが、そのまま陳列しております。公民館にお立ち寄りの際は覗いてみてください。なお、新規持ち寄りには終了しております。



AED(自動体外式除細動器)について

7月17日に嬉野市社会福祉協議会主催のAED講習会に棧会長と事務局長が参加しました。シミュレーション機器を使っての心停止状態の人に電気ショックを与えて回復を図る模擬体験でした。市内においても、AEDで命が助かったという人は、何人もいと耳にします。いざというときには本当に心強い存在です。

体験の感想としては、機械がしゃべるとおりに作業すれば、だれにでも操作ができるものだと思えました。ただ、緊急時はまず119番に電話したのちに、あるいは



同時にAEDを探すということになると思いますが、一番近いAEDがどこにあるのか、知っておく必要があります。吉田地区においては、吉田小学校及び吉田中学校の玄関前と吉田公民館は1階ロビー内にあります。それと8月からは、吉田コミュニティの公用車両をAED積載車両として、常に積載しておくこととしましたので、事務局長在室時には対応が可能となりました。また、コミュニティ主催行事には、AED積載車を持ち込んで、不測の際に備えることにしています。

募集中

9月10日に開講予定の「吉田健康マージャン倶楽部」では、まったく初めての方が、現在6名登録されています。あと2名は参加可能なので、中国語?の数え方から始める人を募集中です。(吉田コミュニティ 43-9380 まで)